



県議会レポート

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子

事務所：北上市青柳町1丁目5-39 Tel:0197-72-7548 fax:72-7549

自宅：北上市下江釣子 16-154-3 (Tel&fax 0197-77-2126) E-mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.sato2007.com/

No.1 2016年(平成28年)2月

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。

お知らせ

感謝
昨年の県議選初挑戦では、ご支援を頂き感謝申し上げます。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

県政を身近に

初議会での一般質問や決算委員会での発言の機会を頂き、新聞にも掲載されることがありました。「新聞やテレビで見えていますよ」と、皆さんから声をかけて頂くことも多く、県議会・県政を身近に感じる機会や関心を持つ機会の一助になっていくことも感じる日々です。



連日連夜

選挙と初議会など目の回るような怒涛の夏と秋を過ごし、現在は各地区や各団体のイベントに御招待を頂いております。1月中の新年会や旗開き等は32回でした。連日連夜、叱咤激励を受けながら元気に活動させて頂いております。

去る年

今年も甲午。「見ざる・聞かざる・言わざる」と言われますが、安倍政権は、国民を見ない、国民の声も聞かない、マスコミに圧力をかけてモノを言わせない風潮になっており、政府の姿には憤りを感じざるばかりです。



県政報告会のご案内

とき 2月26日(金)午後6時30分
ところ フランニユー北上

意見交換会(交流会)は3000円会費です。皆さまのご参加をお待ちしております。

お席の準備の都合上、参加連絡をお願いします。
連絡先 Tel:0197-172-7548 Fax:72-17549

一般質問

9月定例会は10月2日から11月2日まで行われ、代表質問は4人、一般質問は9人が登壇しました。

10月13日一般質問を行い、8項目の質疑をしました。

1. 県と市町村の連携強化を

①市町村要望の状況は?
②市町村長との積極的なコミュニケーションを!

①平成26年度の市町村要望は606件。措置したものと実現に向け努力しているもの合わせて426件(70.3%)だった。

②市町村長との信頼関係は極めて重要。市町村の実情とニーズに合わせ、一体となった復興・ふるさと振興に取り組んでいく。

2. 地域医療を守れ

①奨学金養成医師の配置計画は?
②看護職員の定着を!

③国保の運営見直しの課題は?
④医師確保は、平成20年度から毎年55名の奨学金枠を確保。これまで351名に貸付している。来年度から40名程度の養成医師が輩出される。

⑤看護職員の不足は737人。修学資金による養成、勤務環境の改善等に取り組んでいく。

③国民健康保険は、平成30年

度から県が財政運営の責任主体となる。国から毎年3400億円の支援が予定されているが、財政確立が課題。市町村及び国保連と連携し準備していく。

3. 子育て支援と子どもの貧困対策を

①認定こども園等の拡大で待機児童対策を!
②児童虐待への体制整備を!
③生活困窮世帯の子どもの居場所支援を!

④就学援助費の基準緩和を!
⑤認定こども園は、9か所増の39ヶ所。新小規模保育事業は10ヶ所設置。今後、国の補助制度を活用した財政措置、移行相談等設置拡大に取り組む。

⑥昨年度の虐待一時保護児童は252名、過去5年間で最も多い。「虐待対応専門チーム」の強化と現場の体制整備をする。

③放課後子ども教室や放課後児童クラブの設置率は91%。全小学校区に設置することを目指す。

④就学援助費は、市町村が地方交付税措置で実施しているが、給付基準に差がある。市町村の制度実態など情報提供を行う。

4. 介護環境の改善を

①特養ホーム等の増設は?

②介護人材確保の取り組みを!
③特別養護老人ホーム991床、介護老人保健施設285床、認知症グループホーム347床の開設が見込まれている。

④介護人材キャリア支援員7人を配置し、有資格者の再就職、求人のマッチングを実施。「若手県介護労働懇談会」が組織され、人材確保に取り組む。

5. ものづくり産業人材の育成を

①いわてデジタルエンジニア育成センター(D-Eセンター)の運営強化を!
②北上コンピュターアカデミー(北コン)の運営支援を!

③D-Eセンターは、平成21年度から三次元設計開発の人材育成を実施している。自動車関連等ものづくり産業振興のため、北上市や関係機関等と体制等の検討を進める。

④北コンは、国に支援を働きかけ、平成28年度予算に盛り込まれることになった。今後北上市と連携し、国の財政支援の継続に取り組む。



国体を盛り上げよう!

市町村や不動産団体等と連携し取り組む。
②中古住宅の品質を認証する「インスペクション」を行なう専門育成会について、岩手県建築士会のインスペクター養成講座を支援し普及に努める。

7. 女性管理職の登用を

①岩手県の一般行政職の女性管理職は8人、1.9%で全国最下位だ。どう取り組む？
②女性登用の具体的目標を！
今年度からは、女性リーダー養成やキャリア形成等に関する県独自の研修を開始する。
③女性活躍推進法により特定事業主行動計画を策定することになり、女性職員が能力を発揮し活躍できる計画を検討する。

8. 性暴力被害者支援を

県内の性犯罪の認知件数は、平成26年で57件だが、被害者支援は？
性犯罪被害者への支援は、女性警察官による病院への付添、各種捜査活動への付添支援を行っている。また、病院

での診察や処置費用、カウンセリング費用などを公費で負担している。また、「いわて被害者支援センター」と「はまなすサポートライン」でも支援しており、周知に努める。

決算特別委員会質疑

2015(27)年10月21日～30日
決算特別委員会は、大震災からの復興、人口減少問題、財政運営などの質疑が活発に行われ、4年ぶりに決算が認定されました。

質問 女性消防士を5%にするの目標にどう対応する？
答弁 県内の消防士19,956人中女性性は32人と1.6%、全国平均は2.4%。県内12消防組合の内女性ゼロは5消防。今後計画的な採用を各市町村に要請する。

質問 待機児童問題に対し、潜在保育士の再就職支援は？
答弁 「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置し、潜在保育士の再就職研修等を行っている。平成27年9月末

は33件のマッチングがあった。県内1カ所のセンターでは不十分。県南にも保育士支援センターの設置を。
質問 保育士の処遇改善の状況はどうか。
答弁 平成26年度は私立保育所1施設当たり月額約15万円の処遇改善が行われた。
質問 保育士の臨時非常勤の状況は。
答弁 平成25年10月現在の保育士は4,762人、その内非常勤が672人となっている。平成22年調査と比べ、常勤は182人増、非常勤は138人の増となっている。多様な保育需要のための、短時間保育士が配置されているのが現状である。

質問 旧県立北上病院の活用方針は。
答弁 北上市長及び北上済生会病院連名で、新病院の建設予定地の要望を受けている。北上市は都市計画マスタープランの都市拠点に位置付けており、まちづくりの観点から済生会病院の移転先として適地と示されている。医療局はこれに応じることとし、更地での売却を前提に取り組んでいます。

全国平均を下回る1.6%

女性消防 目標達成へ70人必要

県内消防の消防士について、女性の割合は1.6%と、全国平均を下回っている。2020年度には20%に引き上げたいと、消防関係者から要望が出ている。岩手県消防協会では、今年度から女性消防士の採用を積極的に進め、目標達成を目指すとしている。

消防士は10年程度の研修期間が必要で、その間は給与が低く、女性にとって働きにくい環境となっている。また、消防士としてのキャリアアップの機会も限られている。女性消防士の採用を促進するためには、働きやすい環境の整備や、キャリアアップの機会を創出することが重要である。

消防士としてのキャリアアップの機会を創出するためには、働きやすい環境の整備や、キャリアアップの機会を創出することが重要である。また、女性消防士の採用を促進するためには、働きやすい環境の整備や、キャリアアップの機会を創出することが重要である。

10%
岩手日報

は33件のマッチングがあった。県内1カ所のセンターでは不十分。県南にも保育士支援センターの設置を。
質問 保育士の処遇改善の状況はどうか。
答弁 平成26年度は私立保育所1施設当たり月額約15万円の処遇改善が行われた。
質問 保育士の臨時非常勤の状況は。
答弁 平成25年10月現在の保育士は4,762人、その内非常勤が672人となっている。平成22年調査と比べ、常勤は182人増、非常勤は138人の増となっている。多様な保育需要のための、短時間保育士が配置されているのが現状である。

質問 旧県立北上病院の活用方針は。
答弁 北上市長及び北上済生会病院連名で、新病院の建設予定地の要望を受けている。北上市は都市計画マスタープランの都市拠点に位置付けており、まちづくりの観点から済生会病院の移転先として適地と示されている。医療局はこれに応じることとし、更地での売却を前提に取り組んでいます。

質問 待機児童問題に対し、潜在保育士の再就職支援は？
答弁 「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置し、潜在保育士の再就職研修等を行っている。平成27年9月末

は33件のマッチングがあった。県内1カ所のセンターでは不十分。県南にも保育士支援センターの設置を。
質問 保育士の処遇改善の状況はどうか。
答弁 平成26年度は私立保育所1施設当たり月額約15万円の処遇改善が行われた。
質問 保育士の臨時非常勤の状況は。
答弁 平成25年10月現在の保育士は4,762人、その内非常勤が672人となっている。平成22年調査と比べ、常勤は182人増、非常勤は138人の増となっている。多様な保育需要のための、短時間保育士が配置されているのが現状である。

質問 旧県立北上病院の活用方針は。
答弁 北上市長及び北上済生会病院連名で、新病院の建設予定地の要望を受けている。北上市は都市計画マスタープランの都市拠点に位置付けており、まちづくりの観点から済生会病院の移転先として適地と示されている。医療局はこれに応じることとし、更地での売却を前提に取り組んでいます。

質問 待機児童問題に対し、潜在保育士の再就職支援は？
答弁 「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置し、潜在保育士の再就職研修等を行っている。平成27年9月末



北上病院跡地売却へ

済生会の移転用地に

県議会が決定した。北上病院跡地は、北上市と済生会が共同で売却し、その収益の一部を北上市に寄付する。北上市は、この売却を機に、北上病院跡地の再開発を進め、北上市の都市拠点として活用するとしている。

北上病院跡地の売却は、北上市と済生会が共同で行われる。売却の収益の一部は北上市に寄付され、北上市の都市拠点としての活用が進められる。北上市は、この売却を機に、北上病院跡地の再開発を進め、北上市の都市拠点として活用するとしている。

「DIO ジャパン (コールセンター) 問題」って何？

DIO ジャパンは、緊急雇用創出事業を活用した人材育成事業を自治体から受託したが、給料未払い、会社閉鎖、不正経理が発覚した。(平 26年 3月)
会計検査院は、11 県 19 市町・4 億 554 万円余 (岩手では 7 市町・4,378 万円) の不適正を指摘した。(リース機器の財産取得、消費税過払い、不適正研修、収入過少報告など) 本来は会社が返還するものだが、破産し返還ができないため、事業主体 (市町村) が返還するよう指摘したものである。
岩手県議会では、1 月 15 日復興調査特別委員会 (議長を除く全員) で質疑した。今後、知事の出席を求めて質疑することになっている。

実施市町	不適正額 (万円)
盛岡市	4,427
花巻市	4,684
一関市	3,147
釜石市	6,599
二戸市	5,737
奥州市	12,592
洋野町	6,598

主な論点

県の責任を主張する議員

- ・県が主導して進めたのではない。県のお墨付きがあったから不適正を見抜けなかった。
- ・県も補助金の審査をし、一緒に進めてきたので、返還額の軽減と謝罪をするべきだ。

市町村責任が基本とする議員

- ・全市町村に事業実施の意向調査をした。事業を導入しないと決断した市町村も多く、基本的には市町村の責任が大きい。
- ・事業主体は市町村であり、補助金のルールに基づき返還すべき。該当外の市町村 (県民) に説明がつかない。
- ・岩手県は、厚生労働省の補助金要項の曖昧さを指摘協議し、約 5 億円の返還額を減額させ、県の責任を果たしている。
- ・全国で同様事案があり、市町村に返還を求めている。岩手県だけが特別な処理はできない。

県議会での所属委員会等

会派 改革若手

民主党、生活の党を中心に社民党籍2名と無所属議員で構成され、16名の第一会派。

常任委員会 県土整備委員会 (副委員長)

各会派から10名が所属。建設、河川、下水、港湾、空港と企業局を所管。震災復興の工事契約や、栗原北上線の県道昇格などの審議が行われています。